

1.	私	が	携	わ	っ	た	プ	ロ	ジ	エ	ク	ト	と	品	質	目	標									
1.1	プ	ロ	ジ	エ	ク	ト	の	特	徴																	
	私	は	外	資	系	IT	ソ	リ	ユ	ー	シ	ョ	ン	会	社	の	ビ	ジ	ネ	ス	開	発	部	門		
	に	所	属	し	て	い	る	。	本	プ	ロ	ジ	エ	ク	ト	(以	下	P	J)	は	、	通	信	
	機	器	メ	ー	カ	A	社	の	シ	ン	ク	ラ	イ	ア	ン	ト	受	注	シ	ス	テ	ム	の	リ	ニ	
	ユ	ー	ア	ル	開	発	で	あ	り	、	使	用	性	、	信	頼	性	向	上	を	目	的	と	す	る	。
	本	シ	ス	テ	ム	は	、	世	界	各	国	約	1500	の	契	約	代	理	店	か	ら	の	A	社		
	製	品	の	受	注	処	理	、	履	歴	保	持	、	納	期	情	報	、	処	理	状	況	情	報	等	
	の	提	供	を	行	う	。	当	社	は	7	年	前	現	行	シ	ス	テ	ム	を	担	当	し	た	関	
	係	か	ら	、	本	シ	ス	テ	ム	を	受	注	す	る	事	に	な	り	P	J	マ	ネ	ジ	ャ	ー	
	に	は	私	が	任	命	さ	れ	、	ス	タ	ー	ト	す	る	事	に	な	っ	た	。					
	P	J	の	特	徴	と	し	て	は	次	の	2	点	が	重	要	で	あ	る	。						
		1)	今	回	の	P	J	メ	ン	バ	ー	は	WEB	通	信	系	の	経	験	者	は	3	名	で		
	あ	り	全	体	の	3	割	に	満	た	な	い	。	そ	の	た	め	経	験	者	の	ノ	ウ	ハ	ウ	
	を	共	有	し	ス	キ	ル	ア	ッ	プ	を	図	る	必	要	が	あ	る	。							
		2)	保	守	期	間	を	除	き	連	続	稼	働	で	あ	り	、	障	害	に	強	く	、	短		

時	間	で	の	障	害	復	旧	が	要	求	さ	れ	高	度	な	技	術	力	が	必	要	で	あ	る	。
	工	数	は	120	人	月	、	納	期	は	10	カ	月	後	で	、	外	部	設	計	か	ら	シ	ス	
テ	ム	試	験	ま	で	を	請	負	契	約	に	て	実	施	す	る	。								
1.2	主	要	な	品	質	目	標	と	与	え	ら	れ	た	背	景										
	P	J	の	開	始	に	あ	た	り	、	A	社	責	任	者	の	K	氏	よ	り	障	害	復	旧	
時	間	を	最	終	的	な	サ	ー	ビ	ス	提	供	者	と	の	SLA	項	目	の	一	つ	に	し	た	
い	と	の	表	明	が	あ	っ	た	。	本	シ	ス	テ	ム	に	は	世	界	各	国	か	ら	間	断	
な	い	ア	ク	セ	ス	が	あ	り	、	現	行	シ	ス	テ	ム	で	は	障	害	復	旧	に	最	大	
12H	程	要	し	て	い	る	。	そ	の	た	め	販	売	機	会	を	逸	し	て	お	り	、	失	注	
率	を	半	減	す	べ	く	、	上	限	障	害	復	旧	時	間	4H	保	証	を	前	提	に	し	た	
設	計	を	実	施	し	て	欲	し	い	と	い	う	具	体	的	な	要	請	が	あ	っ	た	。		
	K	氏	の	要	求	値	は	当	社	の	類	似	P	J	の	一	つ	で	既	に	実	現	で	き	
て	い	る	。	私	は	、	そ	の	シ	ス	テ	ム	や	設	計	標	準	等	を	参	考	に	す	れ	
ば	実	現	可	能	で	あ	る	と	考	え	要	請	を	承	諾	す	る	事	に	し	た	。			
	P	J	と	し	て	は	余	裕	を	加	味	し	た	3H	を	品	質	目	標	と	し	、	必	要	
な	機	能	を	組	み	込	ん	だ	上	、	P	J	運	営	を	工	夫	し	達	成	す	る	。		

2.	品	質	の	作	り	こ	み																	
2.1	品	質	を	作	り	こ	む	施	策															
	私	は	、	品	質	マ	ネ	ー	ジ	メ	ン	ト	計	画	の	策	定	に	当	た	り	、	WEB	通
信	系	の	未	経	験	メ	ン	バ	ー	で	も	、	障	害	復	旧	時	間	3H	を	確	実	に	設
計	工	程	で	達	成	可	能	な	施	策	を	検	討	し	た	。	そ	の	結	果	、	P	J	設
計	標	準	と	し	て	障	害	、	障	害	要	因	、	障	害	を	軽	減	ま	た	は	自	動	復
旧	さ	せ	る	シ	ス	テ	ム	等	を	記	載	し	た	設	計	手	引	書	を	作	成	す	る	計
画	を	組	み	込	む	事	に	し	た	。	何	故	な	ら	、	こ	の	資	料	は	社	内	例	が
な	く	、	新	た	に	作	成	す	る	事	で	、	考	慮	す	べ	き	具	体	事	象	を	明	確
化	し	、	品	質	目	標	達	成	の	た	め	の	設	計	を	確	実	に	遂	行	可	能	と	考
え	た	か	ら	で	あ	る	。																	
	即	ち	、	設	計	手	引	書	に	は	過	去	の	類	似	P	J	で	発	生	し	た	障	害
や	本	P	J	固	有	に	発	生	が	想	定	さ	れ	る	障	害	と	障	害	要	因	を	列	挙
し	、	各	々	に	障	害	を	軽	減	若	し	く	は	回	避	す	る	シ	ス	テ	ム	や	機	能
を	対	応	づ	け	、	障	害	復	旧	時	間	を	3H	以	内	に	確	保	可	能	な	も	の	だ
け	を	記	載	さ	せ	る	事	に	し	た	。	具	体	的	な	機	能	と	し	て	は	、	多	重

化	、	縮	退	運	転	、	自	動	バ	ッ	ク	ア	ッ	プ	、	自	動	復	旧	、	フ	ェ	ー	ル	
セ	ー	フ	、	ロ	グ	内	容	、	監	視	機	構	等	を	想	定	し	た	。						
	私	は	、	以	上	の	様	な	具	体	例	に	沿	っ	た	指	針	を	作	成	す	る	事	で	、
未	経	験	者	で	も	WEB	通	信	系	で	の	発	生	障	害	、	障	害	の	回	避	、	軽	減	
の	た	め	の	機	能	の	理	解	が	可	能	と	な	り	、	品	質	目	標	達	成	の	た	め	
の	設	計	が	確	実	に	実	施	で	き	る	こ	と	を	期	待	し	た	。						
	私	は	、	本	資	料	作	成	の	た	め	に	、	WEB	系	通	信	シ	ス	テ	ム	に	習	熟	
し	た	メ	ン	バ	ー	3	名	を	含	む	計	6	名	の	チ	ー	ム	の	編	成	を	計	画	し	
た	。	そ	し	て	障	害	復	帰	時	間	4H	を	達	成	し	て	い	る	H	社	向	け	プ	ラ	
ン	ト	遠	隔	監	視	シ	ス	テ	ム	の	障	害	復	旧	に	関	す	る	外	部	設	計	の	レ	
ビ	ュ	ー	を	計	画	し	た	。	何	故	な	ら	、	効	率	的	な	基	準	の	策	定	の	た	
め	に	は	、	実	績	あ	る	機	能	を	参	考	に	す	る	事	が	最	善	と	考	え	た	か	
ら	で	あ	る	。	そ	の	後	、	本	P	J	固	有	に	発	生	が	想	定	さ	れ	る	障	害	
と	対	応	す	べ	き	機	能	の	抽	出	後	、	結	果	を	併	合	さ	せ	設	計	手	引	書	
を	完	成	さ	せ	る	計	画	と	し	た	。														
	私	は	、	以	上	の	施	策	の	計	画	を	組	み	込	み	実	行	す	る	事	で	設	計	

工	程	で	の	品	質	を	作	り	込	む	事	が	確	実	に	で	き	る	と	考	え	た	。		
2.2	品	質	を	確	認	す	る	活	動																
	私	は	、	品	質	を	確	認	す	る	活	動	と	し	て	設	計	工	程	毎	の	デ	ザ	イ	
	ン	レ	ビ	ュ	ー	を	最	重	要	視	し	た	。	何	故	な	ら	ば	、	本	P	J	は	品	質
	の	設	計	保	証	を	重	要	課	題	と	し	た	事	か	ら	、	基	本	設	計	書	の	完	成
	度	を	十	分	に	確	保	す	る	こ	と	が	重	要	と	考	え	た	か	ら	で	あ	る	。	そ
	の	た	め	レ	ビ	ュ	ア	ー	に	は	社	内	WEB	系	基	本	シ	ス	テ	ム	開	発	部	門	及
	び	本	社	R&D	セ	ン	タ	ー	の	専	門	家	を	加	え	後	工	程	へ	の	漏	れ	が	な	い
	様	に	万	全	な	体	制	で	実	施	す	る	事	に	し	た	。								
	私	は	、	外	部	設	計	書	の	全	体	レ	ビ	ュ	ー	と	は	別	に	早	期	問	題	発	
	見	の	た	め	、	大	機	能	単	位	で	設	計	書	の	完	了	直	後	に	チ	ー	ム	内	レ
	ビ	ュ	ー	を	計	画	し	た	。	レ	ビ	ュ	ー	の	逐	次	実	施	に	よ	り	、	機	能	に
	よ	っ	て	は	数	週	間	早	く	問	題	の	抽	出	が	可	能	と	考	え	た	か	ら	で	あ
	る	。	ま	た	、	潜	在	問	題	点	を	減	少	さ	せ	、	レ	ビ	ュ	ー	品	質	を	高	め
	る	た	め	標	準	指	標	よ	り	厳	し	い	、	設	計	書	1	枚	当	た	り	、	指	摘	数
	を	上	限	4,	下	限	0.5	・	レ	ビ	ュ	ー	時	間	を	下	限	0.6H	と	設	定	し	た	。	

2.3	活	動	の	結	果	と	し	て	察	知	し	た	問	題	点									
	外	部	設	計	の	レ	ビ	ュ	ー	を	実	施	し	た	。	レ	ビ	ュ	ア	ー	は	10	名	、
設	計	書	の	総	ペ	ー	ジ	数	は	400	で	あ	り	、	指	摘	件	数	は	250	件	、	総	レ
ビ	ュ	ー	時	間	は	300H	で	、	P	J	レ	ビ	ュ	ー	品	質	基	準	を	満	た	し	た	。
	全	250	の	指	摘	の	中	で	、	障	害	復	帰	時	間	に	関	す	る	問	題	指	摘	は
45	件	含	ま	れ	て	い	た	。	パ	レ	ー	ト	分	析	し	て	み	る	と	、	24	件	は	分
散	DB	の	自	動	復	旧	処	理	記	述	不	足	、	20	件	は	デ	ュ	プ	レ	ッ	ク	ス	シ
ス	テ	ム	の	自	動	切	り	替	え	の	処	理	抜	け	で	あ	り	、	何	れ	も	設	計	者
の	ケ	ア	レ	ス	ミ	ス	で	あ	る	事	が	分	か	っ	た	。								
	残	り	1	件	は	広	域	通	信	の	障	害	復	帰	時	、	使	用	通	信	ミ	ド	ル	ウ
ェ	ア	の	送	受	信	バ	ッ	フ	ア	の	リ	セ	ッ	ト	不	良	に	よ	り	通	信	が	再	開
し	な	い	可	能	性	の	指	摘	で	あ	る	。	指	摘	し	た	R&D	セ	ン	タ	ー	の	B	氏
に	よ	る	と	、	こ	の	事	象	は	つ	い	3	カ	月	前	に	別	P	J	で	も	発	覚	し
た	と	の	事	で	あ	る	。	こ	の	事	象	は	障	害	か	ら	の	復	旧	が	不	可	能	で
あ	り	、	品	質	目	標	未	到	達	を	意	味	す	る	。	私	は	、	本	問	題	の	対	策
に	加	え	、	設	計	欠	落	の	理	由	を	も	究	明	す	る	事	に	し	た	。			

3.	施	策	の	改	善	、	成	果	及	び	今	後	の	課	題											
3.1	問	題	点	に	対	し	て	特	定	し	た	原	因	と	施	策	の	改	善	内	容					
	B	氏	か	ら	指	摘	の	あ	っ	た	問	題	個	所	は	、	他	の	設	計	部	位	に	も		
該	当	し	う	る	事	か	ら	、	私	は	外	部	設	計	書	の	類	似	カ	所	を	チ	ー	ム		
リ	一	ダ	に	調	査	さ	せ	た	。	そ	の	結	果	、	全	9	ヶ	所	が	抽	出	さ	れ	、		
内	8	ヶ	所	は	リ	セ	ッ	ト	処	理	指	示	の	記	述	が	あ	る	た	め	、	同	様	の		
問	題	は	発	生	し	な	い	事	を	確	認	し	た	。	残	り	1	カ	所	は	指	摘	さ	れ		
た	部	位	で	あ	り	、	WEB	通	信	の	経	験	の	な	い	P	君	が	担	当	し	た	事	も		
明	ら	か	に	な	っ	た	。																			
	通	信	系	の	実	践	ノ	ウ	ハ	ウ	を	持	た	な	い	P	君	に	と	っ	て	は	今	回		
の	設	計	手	引	書	が	全	て	で	あ	り	、	私	は	、	本	手	引	書	の	不	備	が	原		
因	と	な	っ	て	い	な	い	か	を	調	査	す	る	事	に	し	た	。								
	通	信	系	回	復	処	理	の	部	分	は	設	計	手	引	書	の	シ	ス	テ	ム	系	の	ネ		
ッ	ト	ワ	ー	ク	障	害	復	帰	の	対	策	項	目	に	記	載	さ	れ	て	い	る	。	そ	の		
項	目	に	は	初	期	化	の	リ	セ	ッ	ト	処	理	の	記	載	が	あ	る	も	の	の	、	定		
常	時	の	通	信	タ	イ	ム	ア	ウ	ト	に	起	因	す	る	リ	セ	ッ	ト	処	理	の	記	述		

は	な	い	事	が	判	明	し	た	。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

認	を	行	っ	た	。	そ	の	結	果	、	各	処	理	回	復	機	能	の	全	実	測	値	は	設
計	手	引	書	の	規	定	時	間	内	で	あ	る	事	を	確	認	し	た	。	そ	し	て	、	予
定	通	り	納	品	を	完	了	し	P	J	を	完	遂	す	る	事	が	で	き	た	。			
	私	は	、	設	計	手	引	書	の	作	成	と	確	認	レ	ビ	ュ	ー	の	成	果	が	設	定
目	標	達	成	に	大	き	く	寄	与	し	た	と	考	え	る	。								
3.3	残	さ	れ	た	課	題																		
	当	社	に	は	短	時	間	障	害	復	帰	の	た	め	の	設	計	マ	ニ	ュ	ア	ル	が	な
い	。	そ	の	た	め	、	P	J	内	で	設	計	マ	ニ	ュ	ア	ル	の	位	置	づ	け	の	手
引	書	を	特	急	で	作	成	し	品	質	確	保	の	手	段	と	し	た	。	通	常	、	設	計
マ	ニ	ュ	ア	ル	は	、	社	内	専	門	委	員	会	に	て	第	3	者	レ	ビ	ュ	ー	を	繰
り	返	し	完	成	す	る	。	し	か	し	、	今	回	は	時	間	を	優	先	し	第	3	者	レ
ビ	ュ	ー	な	し	で	策	定	し	た	事	か	ら	記	述	漏	れ	が	生	じ	た	。			
	今	後	同	様	の	開	発	に	お	い	て	は	、	新	た	に	手	引	書	等	作	成	せ	ず
直	ち	に	シ	ス	テ	ム	設	計	を	開	始	で	き	る	よ	う	に	、	今	回	の	資	料	を
ベ	ー	ス	に	設	計	マ	ニ	ュ	ア	ル	を	作	成	し	共	有	す	る	事	で	、	P	J	の
品	質	や	生	産	性	を	高	め	て	い	き	た	い	。								以	上	

論文添削結果

2011.06.16 (株) テレコムリサーチ
添削者：佐藤 創

【添削情報】

論文提出者：●●●●●様
問題：平成21年度 問2（3回目）

【免責事項・その他】

本添削結果は、添削者個人の判断によるものであり、所属する会社や組織を代表する意見ではございません。また、本添削結果に即したからといって試験の合格を保証するものではありません。本添削結果の使用の結果生ずるあらゆる損害や被害について添削者は免責されるものとします。本添削結果の著作権は添削者に帰属します。

[目次]

1. 論文見出し構成の例
2. 論述すべき内容
3. 添削結果
4. 講評
 - (1) 添削結果の根拠について
 - (2) 講評の詳細
 - (3) 総評
5. 今後の学習に関するコメント

1. 論文見出し構成の例

以下に添削者が考える、本問題の見出し構成の例を示します。

1. 私が携わったプロジェクトの特徴
 1. 1 プロジェクトの特徴
 1. 2 システムの主要な品質目標とその背景
2. 設計工程での品質目標達成のための施策
 2. 1 品質を作り込む施策
 2. 2 品質を確認する活動
 2. 3 察知した問題点
3. 改善の内容及び成果と、残された課題
 3. 1 特定した原因と改善の内容
 3. 2 改善の成果と、残課題

2. 論述すべき内容

以下に添削者が考える、問題文から読み取れる題意と、求められる論述内容について、1. 論文見出し構成例に沿って示します。

見出し	論述すべき内容	備考
1. 1	①プロジェクトの特徴、あなたの立場、求められる要件などを明記。 ・プロジェクト概要、プロジェクト体制 ・工期、工数、契約内容、担当工程など ・あなたの立場・役割 ・プロジェクトの制約事項・条件など	
1. 2	①品質目標はなるべく具体値としてあげていること ②適切な品質目標を設定したことが伺える背景であること ⇒システムの要件や用途に無関係な品質目標でないこと	
2. 1	①施策によって品質目標が達成できるという根拠とともに、適切な施策について具体的に述べていること ②設計工程開始前に計画した施策であること ⇒設計工程に突入してから事後的に行った施策でないこと	
2. 2	①品質目標の達成に影響を及ぼすような問題点を、早期に察知するための活動内容であること ②設計工程開始前に計画した施策であること ⇒設計工程に突入してから事後的に行った活動でないこと	
2. 3	①品質目標を達成できない可能性がある（もしくは達成できないケースがある）という問題点について述べていること	
3. 1	①特定した問題の原因を分析した結果、品質を作り込む施策の不備や考慮観点の漏れが根本原因であることを突き止めていること ⇒施策の運用面や、人的側面が根本原因だという結論に至らないこと ②察知した問題と、特定した原因の論述内容が矛盾していないこと ③特定した原因に相応しい改善内容であること	

3. 2	①改善によって良い効果があったことを述べていること ②残課題の内容が、これまでに述べてきた内容と因果関係があり、かつ矛盾していないこと ⇒改善施策でも取りきれなかった残課題、または改善施策によって新たに発生した課題などについて、論理的に矛盾なく述べられていること	
------	---	--

本問題は、誰にでも近い経験があるという点で書きやすい問題だといえます。注意するポイントとしては、論文全体を通して、「品質目標」、「品質を作り込む施策」、「品質を確認する活動」の3つの関係が常にはっきり分かるようにすることです。何のための「品質を作り込む施策」なのか、何のための「品質を確認する活動」なのか、というところを、常に「品質目標」と関連させて論述することが必要だと思います。

3. 添削結果

添削者が考える論文評価結果を、A～Dランクに分けて示します。合格はAランクのみです。

評価ランク	内容	判定
A	合格水準にある	合格

※A～Dランクの評価内容は以下の通りです。

- A：合格水準にある
- B：合格水準にあと一步である
- C：内容が不十分である
- D：出題の要求から著しく逸脱している

添削者が考える、各種の詳細な評価項目について、それぞれA～Dランクを示します。

評価項目	評価基準	評価ランク	内容
題意の適切な盛り込み	設問や問題文で求められる題意が適切に盛り込まれていること	A	合格水準にある
論理性	論述に根拠があり、論理的な内容になっていること ・行動や考えの背景として、経験や知識、分析結果に裏付けられた根拠が論述されていること ・行動した結果やプロジェクトの顛末を書いただけの論文になっていないこと ・論述が、具体的・定量的で、かつ論理的であること	A	合格水準にある
プロマネの創意工夫	プロジェクトマネージャとしての創意工夫・判断基準が盛り込まれていること ・プロジェクトマネージャらしい総合的な考え方（創意工夫）を論述していること ・プロジェクトマネージャの役割や責任を理解した上で、適切な行動等について論述していること ・専門用語などは本来の意味や目的を理解して用いていること	A	合格水準にある
文章表現	文章表現が適切で、かつ理解しやすい文章であること ・論文としてふさわしい文章表現であること ・文章の内容が理解しやすいこと ・助詞などの用法に誤りがないこと ・誤字脱字がないこと	A	合格水準にある

4. 講評

添削者が考える講評について示します。

(1) 添削結果の根拠について

評価ランクがAである理由は以下です。

1. 題意の適切な盛り込み

題意はすべて適切に盛り込まれていると考える。特に問題となる箇所はなかった。

2. 論理性

プロマネの考えや判断理由を積極的に述べており、プロマネが何を考えて行動したのかが明確に伝わってくる。また、論述内容が具体的であり、実際に経験があると伺える論文であったため評価できる。

3. プロマネの創意工夫

プロマネの考えがきちんと論述されており、評価できると考える。特に問題となるような箇所はなかった。

4. 文章表現

特に問題となる箇所はなかった。

(2) 講評の詳細

今回は、詳細講評はございません。

(3) 総評

前回の指摘について適切に修正がなされていたと思います。全般を通じて、特に問題となる箇所はありません。

5. 今後の学習に関するコメント

おめでとうございます。弊社の添削ではAランクであると判断致します。
何度も論文を修正して頂きましてお疲れ様でした。

試験本番まであと1週間ちょっととなりました。これまで学習されたことを試験本番でも発揮できることを祈念しております。試験勉強はラストスパートを迎えていますが、体調管理には十分にご留意をして頂きたいです。

以上、添削結果のご確認の程よろしくお願い申し上げます。
ご不明点などございましたらお気軽にメールにてご連絡を頂けると幸いです。

以上